

2017年5月8日

メディポリス医学研究所との連携協定の締結

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社（社長：高橋 薫）は、一般社団法人メディポリス医学研究所（理事長：永田 良一、所在地：鹿児島県、以下：メディポリス医学研究所）とがん医療の理解促進に向けた連携と協力に関する協定書（以下「連携協定」）を4月28日に締結したことをお知らせいたします。

1. 背景・経緯

- ・メディポリス医学研究所では、がん医療の理解促進を図ることにより、国民の健康増進に貢献することを目指しています。
- ・損保ジャパン日本興亜ひまわり生命では、2016年5月から、メディポリス医学研究所にあるメディポリス国際陽子線治療センターをはじめとした、全国の陽子線治療、重粒子線治療の取扱医療機関と直接支払制度※を創設し、当社から医療機関へ直接先進医療給付金をお支払いすることで、お客さまの負担軽減を図っています。

このたび、鹿児島県民をはじめとする国民の一層のがん医療の理解促進と、がん検診の受診啓発に貢献するため、メディポリス医学研究所との協定に至ったものです。

※「先進医療給付金の直接支払制度」の詳細につきましては、2016年5月25日付ニュースリリース『「先進医療給付金の直接支払制度」の拡充～陽子線治療、重粒子線治療を実施する全医療機関に対応～』をご確認ください。

2. 協定の目的

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命とメディポリス医学研究所は、緊密な連携と協力のもと、鹿児島県民をはじめとする国民のがん医療に関する理解促進およびがんの早期発見、早期治療の促進によるQOL※の向上支援を図ることを目的とします。 ※QOL（Quality Of Life）：生活の質

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の強みや特徴が活かせる分野において連携を行い、メディポリス医学研究所と以下のような業務・活動で連携します。

- （1）がん検診の重要性の啓発など、がんの早期発見・早期治療に向けた取組み
- （2）がんの治療方法に関する理解の促進に向けた取組み
- （3）先進医療等の制度に関する認知向上や直接支払制度等の経済的負担軽減の啓発

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、健康応援企業への変革を目指し、“お客さまと保険”という関係性の枠を越え、健康サービスブランド「（リンククロス）」を通じて、国民の健康増進に貢献してまいります。

以上